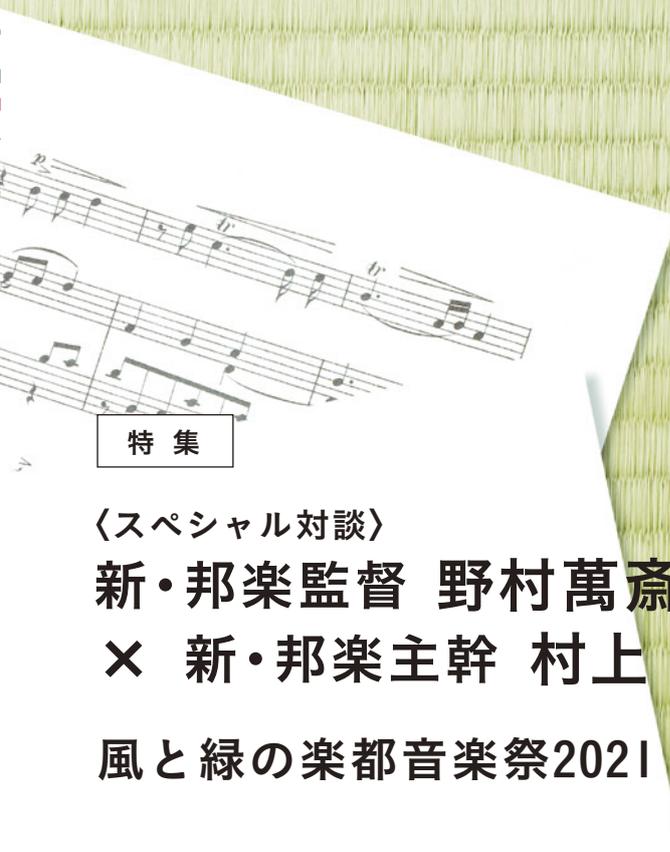


カデンツァ

2021年4月 - 6月号
vol.68

春の茶会に
コンサート。
心おどる季節。



スペシャル
SPECIAL 対談 SESSION

新・邦楽監督：野村萬齋 × 新・邦楽主幹：村上 湛

音楽堂から未来に つなぐ伝統芸能

4月からの狂言師・野村萬齋氏の音楽堂邦楽監督就任を記念して、スペシャル対談が実現。金沢および伝統芸能のこれからについて、古典芸術に携わる二人が

過去と現在が融合する
歴史都市・金沢で
伝統芸能のアップデートを

村上: 新年度からの県立音楽堂邦楽監督着任にあたって、飾らないお気持ちをお聞かせ下さい。

萬齋: 私の祖先は加賀前田家お抱えの狂言役者でしたから非常な感慨を覚えます。その縁に加えて、金沢という土地は戦災に遭わなかった稀有な都市にふさわしく、昨年開館した国立工芸館をはじめ幾多の个性的な文化施設に恵まれ、さらには『ミシュランガイド』にも取り上げられる美食の名所であり、多方面に注目

度の高い土地柄ですから、その創造性に一役買えたらと思います。「伝統芸能」というどうしても古臭いイメージが伴いますが、これは「過去と現在の融合」の一形態なのです。舞台を料理にたとえるならば、同じメニューでも皿が変われば盛り付けも変わりますね。同様に、素材は古典でも現代的感性に照らせば新たな解釈がいく

らでも可能です。僕はよく「アップデート」という表現を使うのですが、「古いものを壊して新しくする」というよりも、「時代と共に呼吸しながら常に新しく生まれ変わる」点に古典芸能の本質があると思います。

村上: 古い価値観にこだわらず、それを絶えず見つめ直す。舞台人ならずとも経験を積み歴史を背負って生き

る者、つまり、われわれ人間みなそうして齢を重ねるわけですが、「新しさ」を絶えず自分に問いかけることは大切です。そもそも人というのは自己の達成感に泥みやすい。経験値が転じて日常的な垢にもなりかねない。金沢は全国有数の「古典文化スポット」ですから、いまの萬齋さんの発言は、この地で新しい伝統のありようを見直

そうとする決意の言葉だと思います。石川県立音楽堂には「オーケストラ・アンサンブル金沢」を擁するコンサートホールと並んで邦楽ホールがあり、クラシック音楽や伝統芸能のみならずさまざまな舞台芸術が発信可能です。両ホールの併設自体が豊かな化学反応を生むきっかけにもなりましょう。音楽堂のこうした特色につい

てはどうお考えですか。
萬齋: 画期的ですね。西欧のクラシック音楽とわが国の伝統芸能が並び立つことで芸術上の共通点と相違点がわかり、長所としてそれぞれ何を伸ばせるかが見えてくる。たとえば、音の厚みとなると伝統邦楽はオーケストラに負けますが、歌を歌うということに着目すれば、メロディーが



撮影：言美歩

野村 萬齋 (のむら・まんさい)

狂言師
祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。3歳で初舞台。東京藝術大学音楽学部卒業。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、古典の技法を駆使した舞台作品の演出など幅広く活躍。2002年度芸術選奨新人賞(古典芸術部門)、2018年に演出・主演(子午線の祀り)で毎日芸術賞・千田是也賞。ほか受賞多数。重要無形文化財「能楽」総合指定。「狂言ござる乃座」主宰。世田谷パブリックシアター芸術監督。東京藝術大学客員教授。

村上 湛 (むらかみ・たたう)

明星大学教授・演劇評論家
早稲田大学・同大学院に学ぶ。能・狂言を中心に古典芸能、一般演劇、舞踊など幅広いジャンルの舞台評論を執筆。能の復曲・再構成・新作なども多く手掛ける。国立劇場おきなわ研修講師、芸術選奨選考審査員、文化庁芸術祭審査委員等を歴任。「朝日新聞」歌舞伎批評欄、「日本経済新聞」能楽批評欄担当。一般財団法人観世文庫評議員。

☐ 先行しがちなクラシック音楽に比べ、まず言葉があってリズムが伴い、そこにメロディーが寄り添う邦楽のほうが聴く耳に届きやすいかもしれない。演者のわれわれも観客・聴衆のみなさんも、それぞれの立場で洋の東西の表現を見比べ、聴き比べられます。音楽堂開館15周年の折にお招き頂いた拙作〈ボレロ〉(注:モリス・ラヴェルの音楽を用いた創作舞踊)では、オーケストラ演奏と伝統芸能とが一つの舞台上で響き合い、まことに手ごたえがありました。それを可能にしたのがこの音楽堂の個性であり、

今後はさらに新古融合・和洋競演を推し進める全国的モデルケースに育てていければと思っています。

村上:すでに北陸・金沢で多くの実演経験がありますが、こちらの風土についてどんな印象を抱かれるでしょう。

萬齋:金沢に限らず北陸の方々は多少シャイな個性をお持ちのように思いますが、それだけに、お世辞ではなく善良なお人が多い。それはすなわち、伝統や歴史を背負って生きておられる方、寒さや降雪に堪えつつそれを享受する生活風土に根ざした方が多いからではないでしょうか。万事において開放的な都会から見れ

ば、言葉は悪いながら閉鎖的に映るかもしれませんが、それは思索を深める内省的な深みと表裏をなすものだと思います。

村上:私はこの数年ご縁を頂きこの音楽堂で伝統芸能の講座を何度か持ちまして、聴衆の方々の肌合いを身近に感じました。座学であるにもかかわらずわざわざ和服をお召しでご来聴の方が多くには驚きましたし、これもお世辞ではなく、みなさん本当に聞き上手でご熱心です。歌舞伎の名優・中村歌右衛門の初代は金沢出身で市内・東山の真成寺に立派なお墓があるのですが、そうした地元ネタをご紹介すると一気に会場の熱量が増します。こうしたことは余所の土地では経験がありません。萬齋さんのおっしゃるように金沢の方々には内省的で郷土を深く愛し、高度な文化継承の意識を持っておられるように感じます。去年(2020年10月4日)、音楽堂・交流ホールに特設の能舞台を作り、文化功労者・人間国宝の大槻文蔵さんに能〈隅田川〉を舞って頂いた時も、省略なしの長時間にもかかわらず驚くほどの集中力でご覧頂き、観客の方々の審美眼の高さを痛感しました。これは嬉しかったですね。

伝統芸能の
新しいかたちを発信し
芸術都市・金沢の
飛躍を目指す

村上:石川県立音楽堂邦楽監督として試みたい企画についてお聞かせ下さい。

萬齋:何であれ、「こんなスゴイことをやるのなら行きたいな」と、他の地域の人を吸い寄せる文化発信力を持ちたいですね。金沢の持つ伝統の重みにふさわしく、日本海側都市中の雄としてイニシアチブをとる意気込みでしょうか。企画の方向としては、「古典における新しいかたちの提案」です。人間を描く、人間存在の何たるかを表現することにおいて、古典であろうが前衛であろうが区別のあるはずがない。たとえ雑多でもいろいろな試みが必要です。金沢オリジナルの

創作と同時に、東京発信の企画との連携も有意義でしょう。こちらの舞台やホールに応じて見せ方も工夫し、石川県在住アーティストの方々との共同作業も当然あり得ますね。

村上:私も萬齋さんと思いを同じくし、有意義な成果を挙げるべく努めたいと思います。伝統芸能というのは一流の人が一流の見識を持って一流の演目と格闘しないと、実に情けない「もぬけのから」にもなりかねない。伝統芸能だけではなく、舞台表現について広範囲の可能性を拓きたいですね。

萬齋:不幸なことにコロナ禍によって劇場から人足が遠のいております。こうした時期なだけに、われわれも

「一流の作品に真剣勝負で取り組まねばならない」との思いに駆られますし、勇気と覚悟を持っておいでくださる観客のみなさんには十分にお応えしたい。舞台はたった一人の受け身で楽しむものではなく、その時々「場」を結び、共有することで、演者と観客と双方の思いが深まります。「人間は一人ではない」ということが舞台芸術の醍醐味です。こんな時代だからこそ、無理のない範囲で、できる限り多くの芸術活動にお触れ願ひ、観客のみなさんに開放感や心の余裕を持って頂きたいです。そうしたご期待に常に沿える音楽堂であり、邦楽ホールでありたいと思っています。



野村 萬齋



村上 湛



世界的ギタリスト、マーティ・フリードマンとOEK。 ジャンルを超えた異色の共演。 広瀬 和生 (月刊BURRN! 編集長)

米国出身のギタリスト、マーティ・フリードマン。彼は最高峰のテクニックと類い稀なメロディ・センスを併せ持つプレイヤーであり、世界的な成功を手にしたMEGADETHのメンバーとして一時代を築いた人物だ。

マーティがユニークなのは、米国人でありながら演歌に代表される日本独自の音楽をこよなく愛し、それを自らのロック・ミュージックに大きく反映させている点だ。彼が日本の音楽と出会ったのはティーンエイジャーの頃に父の仕事の関係で移り住んだハワイでのこと。その後サンフランシスコに拠点を移して1980年代の“テクニカル・ギタリスト・ブーム”の中で注目を集めたマーティは、ロサンゼルスへのヴァイ・メタル・バンドMEGADETHに加入して世界的な知名度を得たが、来日の機会を度々得たこともあって一層“日本びいき”が加速。2004年に日本への移住を決めると、そのまま日本の音楽業界で独自の地位を獲得した。彼の操る日本

語は極めて流暢で、会話が日本人並みであるのみならず、漢字の読み書きも普通にこなしている。

出自はヘヴィ・メタルながらポップスの分野においても才能を発揮するマーティの音楽的なバックボーンは幅広く、クラシックに関しての造詣も深い。ジャンルを超えて“素晴らしい音楽”を追究する彼の奏でる音は、その1つひとつが聴く者の心にストレートに訴えかけてくる。それこそがマーティ・フリードマンという音楽家の最大の魅力と言えるだろう。



マーティ・フリードマン(ギター)

ワシントンD.C.出身のギタリスト。2004年に活動拠点を日本へ移す。05年〜「ヘビメタさん」(テレビ東京)にメインMCとしてレギュラー出演。NHK、民放各局のテレビ番組への出演多数。その他、雑誌・新聞での連載、08年には初著書「い〜じゃん! J-POP だから僕は日本にやって来た」を上梓。現在、ギタリスト・作曲家・音楽プロデューサーだけに留まらず、内外で日本を紹介する文化活動を行うなどマルチ・アーティストとして活動中。



4.18(日) 14:00開演(13:00開場)

オケストリアンサンプリング 金沢 ファンタスティック・オーケストラコンサート

指揮:太田弦 ギター:マーティ・フリードマン ドラム:川口千里 ほか

第1部 ギターとクラシック

バッハ:ブランデンブルク協奏曲第3番より

バッハ:2つのヴァイオリンのための協奏曲より

サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン ほか

第2部 日本をテーマに

弦哲也:天城越え

松本良喜:雪の華

Marty Friedman: Japan Heritage Official Theme Song ほか

【全席指定】SS席 8,500円 S席 7,500円 A席 6,500円 B席 4,500円

※25歳以下の方は50%offでご購入頂けます。(前日より予約可/空席がある場合に限る/要証明書類)

〈会場〉石川県立音楽堂コンサートホール

Close UP! Interview

いま世界中で熱い注目を集める 若きピアニスト藤田真央が OEK定期公演に初登場!

2019年チャイコフスキー国際コンクールで2位に輝き、その類まれな感性と表現力が世界で絶賛されるピアニスト藤田真央さん。OEKと初共演となる、第441回定期公演フィルハーモニー・シリーズ定期公演では、モーツァルトの名曲を披露します。クラシック界が注目する若き才能・藤田真央さんに、曲への思いやコンサートへの意気込みを伺いました。

金沢にはどんな印象をお持ちですか?

金沢のコンサートに初めて出演したのが「風と緑の楽都音楽祭」です。チャイコフスキー国際コンクールに出場する前だったので、まだ私のことを知っている人は多くなかった頃でしたが、金沢で初めてチャイコフスキーを弾き終わった瞬間、「ブラボー!」との掛け声が次々に飛んできて、評価していただけたことが嬉しかったです。その後、金沢のまちを巡っていたら、多くの方に声をかけていただき、音楽祭での反響の大きさを肌で感じました。実はプライベートでも金沢や加賀温泉に遊びに行ったことがあります。風情があって歴史を感じられるまちなみがいいですね。また、オーケストラ・アンサンブル金沢の初代監督として、オーケストラ専用のホールを開館させた岩城宏之さんのドキュメントを観たこともあって、金沢にはとても親しみを感じています。

今回の聴きどころを教えてください。

ピアノコンチェルト20番をコンサートで演奏するのは5回目ということもあり、作品の全容を深く把握して取り組めるようになりました。20番はモーツァルトが29歳の時につくった曲で、特に冒頭は鼓動のような旋律による暗い雰囲気が続きます。でも、同時期に真逆の晴れやかなイメージの21番もつくっています。惜みなく繰り出される多彩なメロディは、際限なくあふれ出すモーツァルトの才能の凄さを見せつけられているかのよう。曲中にはピアニストに自

由に託されるカデンツァがあります。ベートーヴェンによるカデンツァが主流となっていますが、作曲家自身のものがない場合は、私は自分で作曲したカデンツァを弾くことにしています。カデンツァは作曲当時の音のつながりを意識してつくるパターンもありますが、私の場合は現代のピアノだからできるテクニックやその時代の社会環境、自分が感じていることなどを反映させていきます。そんな私の今の思いを込めた自作のカデンツァにも注目して聴いていただけたら嬉しいです。

オーケストラ・アンサンブル金沢との初共演では、どんなことを期待されますか?

指揮者の田中祐子さんからOEKについて「精度の高いアンサンブルが素晴らしいオーケストラ」とお聞きして、とても楽しみにしています。ピアノコンチェルト20番が作曲されたのはまだフォルテピアノの時代だったので、この曲はピアノニッシモが主体の曲。そういった時代背景も踏まえながら、

4.23(金) 19:00開演 オケストリアンサンプリング 金沢

第441回定期公演フィルハーモニーシリーズ

ピアノ:藤田真央 モーツァルト/ピアノ協奏曲 第20番 二短調/セレナード 第4番 二長調「コロレド卿」

【全席指定】SS席 6,000円 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円 スターライト席 1,000円

〈会場〉石川県立音楽堂コンサートホール



オーケストラとのバランスをうまく取っていただければいいですね。なにより、会場のコンサートホールでリハーサルができるのは贅沢なこと。今回はコロナ禍の影響もあり、指揮者のいないコンサートになるので、いろいろと試しながらアビゲイル・ヤングさんがリーダーのOEKと一緒に音づくりをしていけるのではと、とてもワクワクしています。

ピアニスト 藤田 真央 (ふじた まお)

2019年6月、チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞。17年、弱冠18歳で、第27回クララ・ハスキル国際ピアノコンクールで優勝。以降、国際的に活動。国内ではオーケストラとの共演、各地でのリサイタルとともに、春からは3年5回にわたり行う「モーツァルト:ピアノ・ソナタ全曲演奏会」をスタートする。2020年、有望な若手に贈られる「第21回ホテルオークラ音楽賞」「第30回出光音楽賞」を受賞した。



Pick UP!



コロナ禍を乗り越えて、今年は開催！
潮博恵が語る、音楽祭の楽しみ方。

いしかわ・金沢
風と緑の楽都音楽祭

生のエネルギーに満ちた 南欧の音楽を体感

潮 博恵 (うしおひろえ)

今年のテーマは「南欧の風」。イタリア、スペイン、フランスの音楽がメインだが、これらの土地で活動歴がある作曲家も取り上げるので、その射程は広い。そんなテーマ設定に意味はあるのか？という疑問も湧くが、ここにドイツという補助線を引いてみると一つのテーマ性が浮かび上がる。イタリアを先進地として発展した西洋音楽の歴史において、元々ドイツは後進地域。そこに18世紀後半からベートーヴェンを筆頭とする作曲家が多数輩出され、交響曲などの形式を広げて、一躍音楽界を牽引する地域に上り詰めた。今回取り上げる音楽は、それらの動向を横目で見、影響を受けながらも、先進国のプライドを胸に独自の音楽表現や形式面での地平を切り拓いていった作曲家たちの作品である。ぜひ彼らの着想と表現を楽しんでほしい。

もう一つのテーマ性は、「今、私たちが聴きたい音楽は何か?」という視点だ。コロナ下での生活も1年以上が経ち、人々は何かを選ぶときにより本物でシンプルなものを志向するようになっていく。青い海と空、輝く太陽、そして人生を謳歌する人々。そんな南欧の「生のエネルギー」に満ちた音楽は、理屈抜きで私たちの心と身体に響く。また、ライブのサウンドは、データ圧縮されたインターネット経由の音より情報量が各段に多い上に、人間は高周波の音を皮膚で感じ取っているという研究もある。コロナ下の今だからこそ、気軽に聴けるこの音楽祭で五感をフルに解放しよう。



4.28 (土) ~
5.5 (水・祝)

いしかわ・金沢
風と緑の楽都音楽祭2021

<会場>石川県立音楽堂 / 北国新聞赤羽ホール / 北陸エリア
www.gargan.jp



クラシック音楽の名曲群を、世界的演奏家たちが熱演!



Close UP! Interview #2

1年越しのコンサート開催！ オーディションを通過した3人のピアニスト達にインタビュー

去年オーディションで選ばれた時は
どのような気持ちでしたか？

石田: 長年憧れていた新人登竜門コンサートのステージに立てることが夢のようで、またオーケストラとの共演を生まれ育った北陸で叶えられること、皆様に聞いていただけることが何より嬉しかったです。

公演が中止となった時は
どんな気持ちでしたか？

柳原: 覚悟はしていましたが、素直に悲しい気持ちでした。公演が延期になったことを感謝し、心を落ち着けて次に向けて考えることができました。

公演中止から1年
どのように過ごされていますか？

篠永: 現在留学中のウィーンはロックダウンとなり、渡航規制もなかったため休学し、10月に復学しました。しかし再びロックダウンとなりオンラインレッスンを受ける日々です。美しい街並みを散歩し音楽の為のイメージーションを膨らませています。

今回の公演に対する意気込みと
将来について想うことを教えてください

石田: 楽しみにしていただきた多くの皆様に1年間お待たせして演奏を聴いていただくことを大変嬉しく思っています。今、改めて人前で演奏できる喜びを感じています。音楽の力を信じて、責任と感謝を持って生きていきたいと思っています。

篠永: 今年の元旦にウィーンフィルのニューイヤーコンサートで最後に指揮者のリカルド



篠永 紗也子



石田 詩葉



柳原 奈侑

ムーティ氏が言った「音楽は私たちに喜び、希望、平和、平等、そして愛をもたらしてくれる。音楽は世界をより良くするためにある。そしてそれが音楽家の使命だ」という言葉のように、私も音楽の力を信じ、一人の音楽家としてお客様に音楽のすばらしさを届けるよう精一杯演奏したいと思います。

柳原: クラシック音楽の本質を伝えながらも聞き手の為の音楽であることを忘れずにいた

です。今回演奏するラヴェルのコンチェルトは、あつけらんとした雰囲気と大きな自由を手にしたような余裕感であふれています。太陽の光明がさすような温かみを皆様と共有したいと思います。

ピアニスト 柳原 奈侑 (やなぎはら なゆ)

石川県白山市出身。現在、桐朋学園大学カレッジディプロマコース在学中。

ピアニスト 篠永 紗也子 (しのなが さやこ)

石川県出身。東京音楽大学卒業、同大学院修了。現在、ウィーン国立音楽大学在学中。

ピアニスト 石田 詩葉 (いしだ ことほ)

富山県出身。武蔵野音楽大学音楽部演奏学科ヴィルトゥオーゾコース卒業。現在、武蔵野音楽大学修士課程1年次在学中。

5.16 (日) 15:00開演 北陸新人登竜門コンサート

指揮: 鈴木織衛 ピアノ: 柳原奈侑、石田詩葉、篠永紗也子
ラヴェル/ピアノ協奏曲ト長調 ショパン/ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第4番ト長調

【全席指定】一般 1,000円 大学生以下 500円 <会場> 石川県立音楽堂コンサートホール





音楽堂と
百番街は
お隣さん



金沢の茶の湯文化に触れて
その奥深さに感じ入ります

茶室協力：泉千鶴さん、大村洋子さん

OEK楽団員(ファゴット)
金田 直道さん (千葉県出身)

千葉の実家では朝もおやつも夕食後も紅茶を飲む習慣が
あって、実家を離れた今も茶葉にこだわって淹れた紅茶を、
焼き菓子やケーキといっしょに楽しめます。同じお茶でも、抹茶をい
ただくのは実は人生初です！味ってみると濃厚で、和菓子の甘さ
が合わさったところまで計算されているのがわかります。お茶だけ
じゃなく、器や掛け軸、お花といったお茶室のしつらえまで、季節や
お客を思いやる、もてなしの心がこもる茶道は奥深いですね。

日本有数の室内管弦楽団であるOEK入団が叶い、金沢に來ま
した。騒がしい東京と違って、まちが落ち着いていて過ごやすく、
風情ある長町界隈を散歩するのが好きです。そんな土地柄だから
か楽団も穏やかな雰囲気。ただ、入団したばかりで演奏経験のな
いレパートリーも多く、日々てんでこ舞いです。ファゴットはリード
が命というほど、音の良し悪しを決めるのはリードの調整次第、そ

のためリードは自作するので手間と時間がかかります。0.01mmの
削り具合の差で音がガラリと変わるので、手で触ったり光に透か
してみたり、まさに伝統工芸の職人レベル。見えない苦労は多くて
も、ベートーヴェンが「天からの声」と評したファゴットの美しい音
色に惹かれます。他の楽器にはない独特の音を皆さんに届ける
ために、いつかソロリサイトルが開けるよう頑張りたいです。

金田 直道 (OEKファゴット)

武蔵野音楽大学楽器科を卒業後、東京藝術大学別科を卒業。2017年、武蔵野音楽大
学学部新人演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。第31回練馬区新人演奏会出演者選考
オーディションで優秀賞を受賞し、同演奏会にて東京フィルハーモニー交響楽団とソリスト
として共演。第1回日ファゴットコンクール第3位。
第36回日本管打楽器コンクールファゴット部門
第2位。ファゴットを森純一、岡崎耕治、水谷上総
の各氏に、室内楽を三倉麻実、五十畑勉の各氏
に師事。練馬区演奏家協会会員。

石川屋本舗 あんと店
☎ 076-260-3768
8:30~20:00 不定休

読者プレゼント!

ペア
5名様

Concerts
Ticket

北陸新人登竜門
コンサートチケット

3
名様



音楽祭ガルガン
トートバッグ

3
名様



音楽祭 ガルガン
ぬいぐるみストラップ

5
名様



OEK メモブロック
クリアファイルセット

お申込み方法

(オンライン申し込み)
右のQRコードよりアクセスし、
お申し込みください。
(ハガキ申し込み)
住所、氏名、電話番号(すぐに連絡のつくもの)、
OEK・音楽堂への応援メッセージをご記入の上
〒920-0856 金沢市昭和町20-1
石川県立音楽堂内 CADENZAプレゼント受付係まで
お送りください。
※締め切り2021年4月30日(金)必着。
当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。



コンサートホール
4.18 (日) 14:00開演 25 安
オーケストラアンサンブル金沢
ファンタスティック・
オーケストラコンサート

指揮：太田弦
ギター：マーティ・フリードマン
ギター：森丘直樹
ドラム：川口千里
ベース：馬場健史

パッサリ/ブランデンブルク協奏曲 第3番より
2つのヴァイオリンのための協奏曲より
サラサーテ/ツイゴイネルワイゼン
渡辺俊幸/Essay for Drums and Small Orchestra
Marty Friedman/
Japan Heritage Official Theme Song ほか

【全席指定】
SS席 8,500円 S席 7,500円
A席 6,500円 B席 4,500円

コンサートホール
4.23 (金) 19:00開演 25 安
オーケストラアンサンブル金沢
第441回定期公演
フィルハーモニーシリーズ

リーダー&ヴァイオリン：アビゲイル・ヤング
ピアノ：藤田真央

モーツァルト/ピアノ協奏曲 第20番 二短調
セレナード 第4番 二長調「コロレド卿」

【全席指定】
SS席 6,000円 S席 5,000円
A席 4,000円 B席 3,000円
スターライト席 1,000円

4.29 (木・祝)~ 5.5 (水・祝)
いしかわ・金沢
風と緑の楽都音楽祭2021
南欧の風 イタリア・スペイン・フランス

詳細はP7、裏表紙

コンサートホール
5.16 (日) 15:00開演 安
オーケストラアンサンブル金沢
第19回北陸新人登竜門
コンサート(ピアノ部門)

指揮：鈴木織衛
ピアノ：柳原奈侑、篠永紗也子、石田詩葉

ラヴェル/ピアノ協奏曲 長調
ショパン/ピアノ協奏曲 第1番 小短調
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第4番 長調

【全席指定】
一般 1,000円 大学生以下 500円

コンサートホール
5.24 (月) 12:15開演 安
ランチタイムコンサート
ソプラノ&オルガン 天上の調べ

ソプラノ：熊田祥子
オルガン：春日朋子

アーン/歌曲「クローリスに」
フォーレ/レクイエムよりピエ・イエズ
ドビュッシー/月の光 ほか

【全席指定】500円

交流ホール
5.25 (火) 17:00開演 安
カルチャーナビ Vol.1
金子三勇士

ピアノ&トーク：金子三勇士

第1部「公開レッスン」17:30-18:40
第2部「トーク&演奏」19:00-20:30
【全席自由】1,000円

コンサートホール
5.29 (土) 14:00開演 25 安
オーケストラアンサンブル金沢
第442回定期公演
マイスター・シリーズ

指揮：ジャン＝クロード・カサドシュ
ピアノ：トーマス・エンコ

モーツァルト/ピアノ協奏曲 第24番 八短調
ビゼー/交響曲 八長調

【全席指定】
SS席 6,000円 S席 5,000円
A席 4,000円 B席 3,000円
スターライト席 1,000円

コンサートホール
6.17 (木) 12:15開演 安
ランチタイムコンサート
昭和なつかしきあの名曲をあなたへ

歌：直江学美、仲谷響子、近藤洋平
サクソフォン：筒井裕朗
ピアノ：田島睦子

【全席指定】500円

交流ホール
6.21 (月) 19:00開演 安
カルチャーナビ Vol.2
池辺晋一郎&山田和樹

池辺晋一郎、山田和樹

【全席自由】1,000円

コンサートホール
6.26 (土) 14:00開演
オーケストラアンサンブル金沢
県教弘クラシックコンサート

指揮：角田鋼亮
殺陣：河口博昭(殺陣無銘刀)、
伊五澤利夫、坂本純基、井口淳

渡辺俊幸/「利家とまつ」より
ベートーヴェン/交響曲 第7番 長調

【全席指定】要入場整理券
問合せ
(公財)日本教育公務員弘済会石川支部
TEL 076-255-1461

交流ホール
6.30 (水) 14:00開演 安
OEKおしゃべりクラシック
～眠りに落ちる前に～

ヴァイオリン：原田智子
ピアノ：白河俊平

ベートーヴェン/ロマンス
ラヴェル/ツィガーヌ
クライスラー/ロンドンデリーの歌 ほか

【全席指定】500円

more!
オーケストラアンサンブル金沢
(石川県立音楽堂以外の公演)

小松定期公演<春>
6.7 (月)
19:00開演

指揮：佐々木新平
サクソフォン：
上野耕平

ドビュッシー/小組曲
ラヴェル/亡き王女のためのパヴァーヌ
イベール/室内小協奏曲 ほか

【全席自由】
一般 3,500円
学生(高校生以下) 1,500円
(会場)こまつ芸術劇場うらら大ホール
(問合せ)オーケストラ・アンサンブル金沢小松友の会
Tel.0761-22-5552

25 25歳以下の方
会場窓口にて当日券半額
安 1,000円以下で入場できる公演

※都合により内容に変更が生じる場合がございます。

いしかわ・金沢 GARGAN MUSIC FESTIVAL
風と緑の楽都音楽祭 2021

4/28(水)・5/5(水祝) 本公演 5/3(月祝)・5/5(水祝)

会場 ●石川県立音楽堂 ●金沢歌劇座
 ●北國新聞赤羽ホール ●北陸エリア(福井・石川・富山)

東京2020応援文化オリンピックアード 認証事業

音楽祭イメージキャラクター
 ガルガンチュア

南欧の風にのせて
 トップアーティストが
 金沢に大集合!

今年のテーマ
南欧の風
 イタリア・スペイン・フランス
 ～オリンピック・パラリンピック開催記念～



アルル 円形闘技場

オーケストラ



大阪フィルハーモニー交響楽団



兵庫芸術文化センター管弦楽団



オーケストラ・アンサンブル金沢

指揮



秋山 和慶



広上 淳一



垣内 悠希



板倉 康明



田中 祐子

ピアノ



館野 泉



近藤 嘉宏



三浦 友理枝

管・弦楽器



木嶋 真優(バイオリン)



宮田 大(チェロ)



村治 奏一(ギター)



須川 展也(サクソ)



東儀 秀樹

歌手



腰越 満美(ソプラノ)



鷗 真衣(ソプラノ)



鳥木 弥生(メゾソプラノ)



笛田 博昭(テノール)



森 雅史(バス)



池辺 晋一郎



新垣 隆



加羽沢 美濃

合唱



東京オペラ・プロデュース合唱団



伝統芸能

チケット 好評発売中!! 音楽祭チケットカウンター (石川県立音楽堂内)
 ☎076-232-8118 (10:00~18:00)
 チケットぴあ、ローソンチケット、セブンチケットでも購入できます

WEB購入もできます
www.gargan.jp
 風と緑の楽都音楽祭 検索

※チケット料金につきまして、GO TOイベント事業が再開された場合、
 再開日以降のご購入より割引が適応されます。GOTOイベント事業
 再開にともなう割引開始は音楽祭WEBサイトにてご案内いたします。

お問い合わせ/いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 実行委員会事務局
 石川県金沢市昭和町20-1 石川県立音楽堂内 ☎076-232-8113 (平日10:00~17:00)

石川県立音楽堂
オーケストラ・アンサンブル金沢

チケットの
 お求め **音楽堂チケットボックス(石川県立音楽堂1F)**
076-232-8632 <窓口販売> 9:00~19:00
 <電話受付> 10:00~18:00

(公財) 石川県音楽文化振興事業団 石川県金沢市昭和町20-1 TEL: 076-232-8111
 ○JR北陸線/金沢駅兼六園口(東口)徒歩1分 ○北鉄バス/金沢駅下車 <http://www.ongakudo.jp> <http://www.oek.jp>